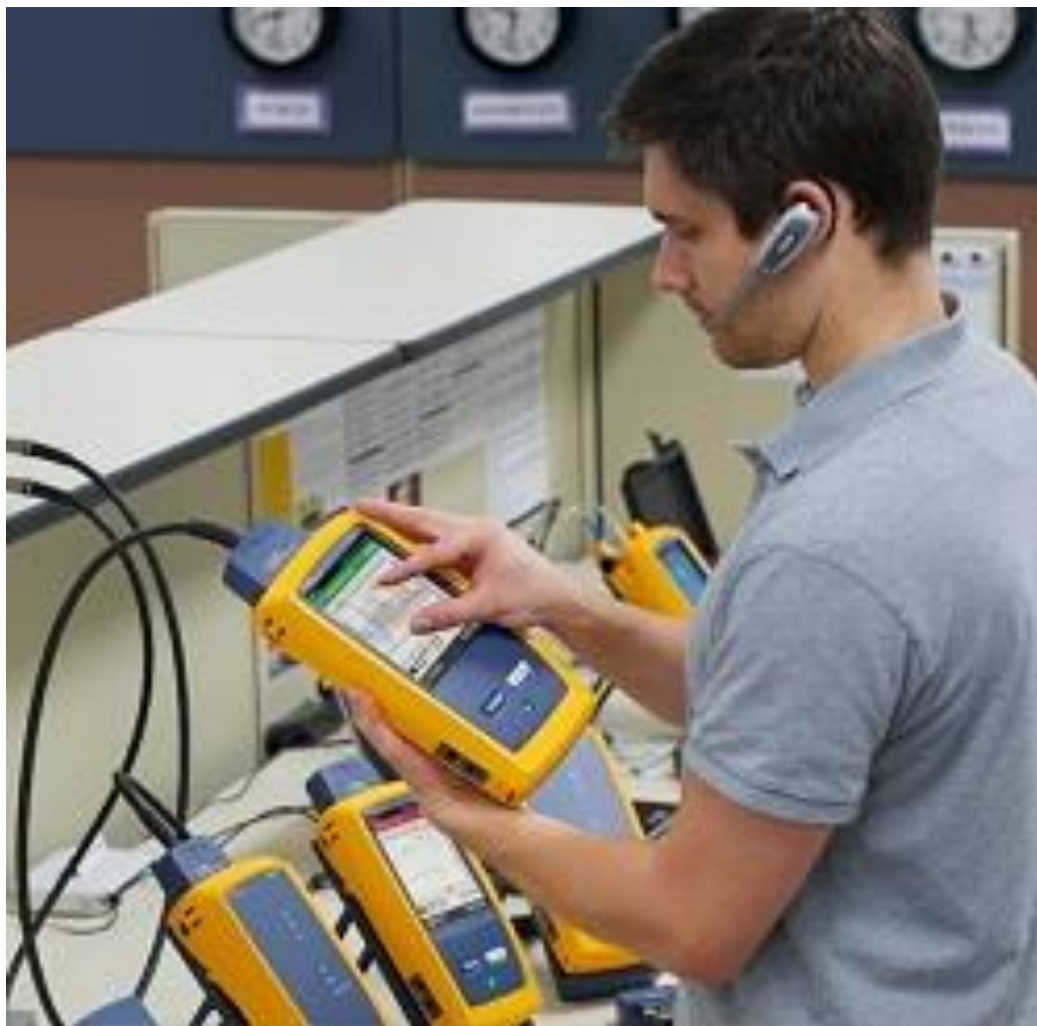


## 校正の重要性

～ なぜ校正が必要なのか？それがもたらしてくれるメリットは？～



2018 年 04 月 04 日

Mark Mullins

フルーク・ネットワークス “ケーブリング・クロニル” ブログより抜粋

<https://jp.flukenetworks.com/blog/cabling-chronicles/let-s-all-calibrate-and-have-good-time>

## はじめに

ダッシュボードのエンジン・ランプが点灯してもしばらく運転する人がいますが、同じように、フルーク・ネットワークスからの校正期限が近いことの案内メールや LinkWare™ Live\* からの通知が届いても、テスターの校正を先延ばしにする人がいます。自動車の場合と同じように、校正が本当に必要性なのか、あるいは校正についても多少くらい遅らせてもいいのではないかと考えている方もいらっしゃると思います。



\*注: Versiv ファミリー用テスト結果管理用クラウド・サービス

また、車の整備と同様に、校正に出している間テスターを使用できないことも理解しています（ただし、ディーラーで車を整備すると代車を無料で借りることができます。テスターの場合は、フルーク・ネットワークスのプレミアム・ゴールド・サポート・プログラムのメンバーシップをご購入いただいたお客様に代替機をお貸ししています）。

しかし、車のオイル交換やテスターの校正を怠ると、後で深刻な問題に発展する可能性があります。

## 校正が必要な理由

時間の経過とともに車のオイルは劣化し、エンジンを効果的に潤滑することができなくなります。同様にフルーク・ネットワークスのテスターの構成部品も本来の動作をしなくなることがあります。高確度なテスターを設計する過程において、適切な校正周期を決める必要があります。当社は、仕様を精査し、数千台のテスターの実際の動作を確認したうえで校正周期を決定しています。すべての電子部品と同様に、抵抗器、コンデンサー、回路は、温度や湿度、およびテスターのオン/オフによる温度の上昇/低下の影響を受け、時間が経過するにつれてその性能に変化が生じます。テスター内部の回路基板にも埃やその他の物質が付着することもあります。

コンクリートの床の上に誤ってテスターを落としたり、車が急停止したはずみでテスターが助手席から落ちたりすることもあります。氷点下の冬、あるいは猛暑の 8 月に、週末車内にテスターを放置してしまった場合はどうでしょうか。テスターは、こういった負荷に耐えるよう設計されていますが、本来の保証確度で動作しなくなる可能性があります。



校正が義務付けられている場合もあります。ISO 9001 認証を取得している場合は、検査や品質管理に使用する測定機器を必ず校正する必要があります。また通常、ケーブル/接続部材メーカーからシステムの保証を受けるには、校正が有効期限内にある機器を使用したテスト・データである必要があります。



## 適時な校正を怠ることによるリスク

オイル交換をしなかったために車が故障したり、エンジンが動かなくなったりすると、結局は長期的に大きなコストがかかります。テスターの校正を先延ばしにした場合も同じことが言えます。システム保証が無効になるリスクを負うだけでなく、テスターが誤って不良リンクを合格、良好なリンクを不合格にする可能性もあります。

校正されていないテスターによって不良リンクが合格となり、顧客に間違った結果を提出すれば、手戻り作業や修正を要求され、最悪の場合は訴訟問題に発展することもあります。逆に良好なリンクが不合格になった場合は、トラブルシューティングや修正の必要のないリンクに無駄な時間を費やすこととなります。いずれの場合も、顧客満足度の低下につながるだけでなく、時間とコストの浪費は避けられないことは言うまでもありません。



## まとめ

最終的にコストを削減するには、適切に校正されたテスターを使用する必要があります。フルーク・ネットワークスのテスターの校正は、世界 13 か所にある当社の正規サービス・センターで行うことが推奨されます。ここでは高度な校正、製品に特化した専門知識の提供、徹底した調整作業、修理、ファームウェアの更新を受けることができるため、新品時と同様のテスターの確度を確保できます。このように、正しく校正を行えば問題は未然に防ぐことができるのです。

校正については下記サイト記載の、最寄りのフルーク・ネットワークス正規サービス・センターをご確認ください。

<https://jp.flukenetworks.com/edocs/whycalibrate>

## フルーク・ネットワークスについて

フルーク・ネットワークスは、優れた認証/トラブルシューティング/インストレーション・ツールを提供する世界大手企業です。当社の製品は、重要なネットワーク・ケーブル配線インフラを設置・保守する技術者を対象にしています。弊社は、信頼性と比類ない能力において高い評価をいただいております。最先端のデータセンターの設置から災害時の電話サービスの復旧作業に至るまで、すべての作業を効率的に行います。

### DSX-8000 CableAnalyzer™ – メタル配線認証手順のステップの時間短縮を加速化します



最も厳しい測定精度要件である TIA の精度レベル 2G に適合する一方、比類のないスピードで Cat 8 および Class III のメタル認証試験を効率化します。ProjX 管理システムは、作業の確実な実施を実現し、試験のセットアップからシステムの検収までの作業進捗状況の把握を容易にしてくれます。Versiv プラットフォームは、光ファイバー試験 (OLTS と OTDR の両方) もサポートします。このプラットフォームは、将来の規格 改定へのサポートに備え、容易にアップグレードが可能です。近端漏話、反射およびシールド不良を含む不良原因のグラフィカルな表示を行う Taptive (タップティブ) インターフェースにより不良原因のより素早いトラブルシューティングができます。また LinkWare PC 管理ソフトウェアを使用し、試験結果の解析と専門的なテスト・レポートの作成が可能です。

### CertiFiber® Pro – 光ファイバー認証試験プロセスのすべての段階の作業効率を上げ、加速化します

2 波長、2 本の光ファイバー認証の効率を改善し、試験をわずか 3 秒で実施できます。Taptive (タップティブ) インターフェースにより、セットアップの簡素化、間違いの排除、さらにトラブルシューティングのスピードアップが図れます。基準値設定の自動ガイダンス機能により、確実な基準値設定が可能になり、負の損失結果発生もなくなります。OptiFiber Pro モジュールと組み合わせて、Tier 1 (基本) / Tier 2 (拡張) 試験とレポート作成のすべてを行えます。便利な 4 波長モジュール によって、シングルモードとマルチモードの両方に対応できるばかりでなく、マルチモードの EF 適合性能もサポートします。



### OptiFiber® Pro OTDR – データセンター/企業向け光パルス試験器



業界初の企業/データセンターの課題解決向けにからデザインされた光パルス試験器です。シンプルでこれまでにない効率性、さらにキャンパス、データセンターおよびストレージ・ネットワークのトラブルシューティングに正に必要な機能群を組み合わせたツールで、現場の技術者を、専門知識を備えた光ファイバー専門技術者に変えてしまいます。すなわち、業界唯一のスマートホン・タイプのユーザー・インターフェースを備えることで光ファイバー試験を新たな高みに導きました。そして、DataCenter OTDR コンフィギュレーションにより、データセンター試験における不確実性やエラーが排除されます。その極めて短いデッドゾーンにより仮想化データセンターにおける光ファイバー・パッチコード試験も可能にします。

### FI-7000 FiberInspector™ Pro – 光ファイバー・コネクタ端面を 2 秒で自動合否判定

汚れ、へこみ、小片、および傷による問題箇所をグラフィカルに表示します。業界標準規格の IEC 61300-3-35 に基づき判定できるため、端面検査における主観的な判断を削除することができます。



**Versiv 製品選択ガイド**

[選択ガイドへのリンク](#)

**フルーク・ネットワークス**  
株式会社 テクトロニクス&フルーク フルーク社

〒108-6106  
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 6F  
TEL 03-4577-3972 FAX 03-6714-3118  
Web サイト: <http://jp.flukenetworks.com>  
©2022 Fluke Networks Inc. All rights reserved.  
Printed in Japan 11/2022 7002433C